**Ｈ２Ｏｓａｋａビジョン推進会議　第13回会議　議事要旨**

**日　時**：令和4年10月28日（金）午後2時～午後4時

**場　所**：web会議

**出席者**：（会長）

（敬称略）　　　秋元圭吾（公益財団法人地球環境産業技術研究機構）

　　　　　　　　　（構成団体）

(株)池田泉州銀行、エア・ウォーター(株)、一般財団法人大阪科学技術センター（OSTEC）、

大阪ガス(株)、(株)大林組、川崎重工業(株)、関西エアポート(株)、関西電力(株)、鴻池運輸(株)、

(株)神鋼環境ソリューション、大和ハウス工業(株)、(株)竹中工務店、帝人エンジニアリング(株)、

東芝エネルギーシステムズ(株)、日本製鉄(株)、パナソニック(株)、(株)日立製作所、日立造船(株)、

丸紅(株)、(株)三井住友銀行、三菱重工業(株)、(株)三菱UFJ銀行

（事業別研究会座長）

ＦＣ船研究会座長、ＦＣバス研究会座長

　　　　　　（オブザーバー）

（公社）関西経済連合会、近畿経済産業局

　　　　　（事務局）

大阪府商工労働部成長産業振興室産業創造課、

大阪市環境局環境施策部環境施策課、

堺市環境局カーボンニュートラル推進部環境エネルギー課

**議事要旨**

　**議題１　「取組の現状について」**

■資料１に沿って説明

◆FCバス研究会について

* 今年3月に府補助金を活用して導入されたFCバス２台により得られる実車運行データ等を発表、共有する。

◆FC船研究会について

* 2023年のFCシステム実用化市場投入(300kW級)や万博・CNP向けシステムパッケージの商用利用をめざしてFCシステムを開発中。
* 万博会場と大阪市内の観光地を結ぶ運行を目途に、NEDOの助成金を活用してFC船とFC船へのエネルギー供給システムを開発中。

◆社会受容性の向上について

* 地域イベント等でFCVを活用し、水素の社会受容性の向上に取り組んでいる。また、FCVを公用車に導入し、環境性能等の魅力を発信。令和４年度からは防災訓練の機会を活用し給電デモなどを実施。コロナ禍での啓発も見据え作成した動画を大阪市環境局のYoutubeチャンネルに掲載。
* ZEV等の普及により環境先進都市の構築を図るため、在堺トヨタ各社と連携協定を締結。協定締結日にはFCVを活用したイベントを実施。FCV活用モデル創出プロジェクトとして、在堺トヨタ各社の所有するFCVを市内事業者に貸与し、業態に応じた効果的な活用方法や課題の検証を実施。また、４月にはトヨタ自動車と協力し、FCトラックの試乗会を実施。

**議題２「水素関連プロジェクトの実現に向けて」**

■資料２－１～２－2に沿って説明

【質疑応答】

◆水素社会実現に向けた取組み【関西電力株式会社】

（質問１）

資料12ページについて、地産地消モデルによる水素製造コストの今後の見通しは？

（回答）

FS調査中で見極めているところ。余剰、未利用エネルギーを活用しコストを下げていく。

（質問2）

資料12ページについて、地域産業での利活用としての燃料の水素転換とは？

（回答）

淡路地域では、淡路瓦に代表される瓦産業が活発。例えば、窯業の燃料に水素を活用することなどを想定している。

（質問3）

再エネや原子力等の国内の様々なエネルギーから水素製造との事ですが、将来の電力余剰見込みや、水素製造への利用率は、どの程度と推測しておられますか？

（回答）

詳細な見込みは持ち合わせていない。

（意見）

フランスでは余剰エネルギーの活用が進んでいるが、日本では、原子力はそこまで余剰に至っていない。

◆水素社会実現に向けた川崎重工業の取り組み【川崎重工業株式会社】

（質問１）

2050年のカーボンニュートラルに向けて、褐炭由来を含めたブルー水素の見通しをどう考えているか？

（回答）

現状、石油の値段が上がっている中、褐炭はトレードがされていないので、価格安定性の面でメリットがあるとみている。褐炭由来のブルー水素は継続して検討が必要。ブルー水素であってもCO2排出量、LCAがどれくらいかをクリアに出していきたい。トータルでのCO2排出量を証明することで継続して使っていけると思う。

（意見）

2050年のカーボンニュートラル実現にはブルー水素は引き続き重要と考えている。トレーサビリティをどうするのかが必要だと思う。

（質問2）

需要が増えてきた場合、神戸ターミナルだけでなく他にも水素を供給する場所を増やしていく予定？

（回答）

神戸だけでなく発電所など需要地に近いところに広がっていく。エネルギー需要の大きいところがまずはターゲットになっていく。

（質問3）

地政学リスクを考えると、日本国内である程度水素が賄えるサプライチェーンが必要ではないか？その際に、都心部と地方部とで、水素価格に差が生じることにならないか？

（意見）

グローバルなサプライチェーンは経済合理性があるが、安全保障、安定供給の面では国内もサプライチェーンができればと思う。ただし、輸入水素と地産地消型の水素とでは、価格差が出てくると思う。

（回答）

エネルギー自給が日本ではかなり難しい。エネルギーの海外からの輸入は必須と思っている。効率よく、できるだけ安価に輸入できるよう努めたい。

（意見）

国内のエネルギー使用量は莫大で、なかなか自給だけでは賄えない。

**議題３「その他」**

■資料3に沿って報告

◆カーボンニュートラル技術開発・実証事業について【大阪府】

* 万博に向け効果的な発信方法を検討していきたい。

以　上